

2025
3/15 SAT MON
-24

10:00-17:00
金沢市民芸術村
PIT5アート工房

不村

思議守

な

神様世界

「秋田人形道祖神プロジェクト」をはじめ、数多くの装画や広告イラストを手掛ける宮原葉月の、ポップでカラフルなパワーあふれるイラストで伝える人形道祖神や民俗学伝承の世界をご紹介します。

Art-SITE vol.4

道祖神

関連企画

ギターラギー

無料 もっと深く！ 作品解説と 制作取材秘話

展示作品を手掛けた宮原さんが、作品に込められた思いや、人形道祖神やアマメハギをみる際のポイントを解説します。取材秘話も満載。道祖神の世界の魅力を存分に感じてください。アーティストと直接対話できる特別な時間をお見逃しなく！

開催日時 3/15(土)・16日(日) 13:00~(30分程)

対象 どなたでも 参加費 無料

ワークショップ

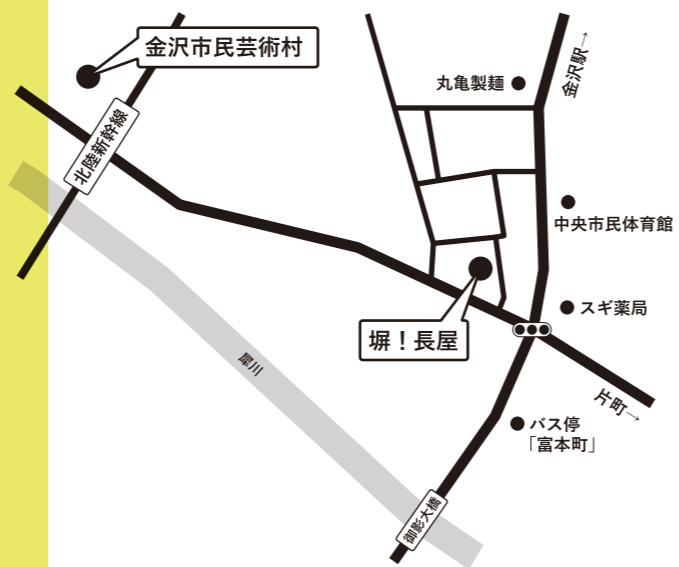
無料 さんだわら 魔除けづくり

棧俵(さんだわら)は米俵の蓋に使われていたもので、人形道祖神を作る際におへそやおっぱいになることが多く、悪霊を跳ね返す魔除けとされています。能登中島町の農家さんの稲藁を使って、棧俵の魔除けを作ります。宮原さんの神様イラストを付ければ更にご利益アップ！

開催日時 3/15(土)・16(日) 10:00~/11:00~/14:00~(30分程)

対象 どなたでも(予約優先。材料がなくなると終了いたします。) 参加費 無料

お申し込み 不要。優先予約は公式サイトにて受付ます。



Kanazawa Citizen's Art Center
金沢市民芸術村

〒920-0046 石川県金沢市大和町1-1
TEL 076-265-8300
芸術村ウェブサイト公式 www.artvillage.gr.jp
アクションプランウェブサイト www.geimura.com



ワークショップの
お申し込みはこちら

主催：金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会(公益財団法人 金沢芸術創造財団、金沢市)
企画担当：金沢市民芸術村アート工房 たらにしゆか・モンデンエミコ
協力：秋吉地区公民館(能登町)、輪島神社(輪島市)、塀!長屋

グッズ販売 道祖神グッズが ご近所で買えます！

芸術村のご近所、金沢市長土塀にある古い三軒長屋を利用した住居+アトリエ+カフェ & バーからなる共同スペース「塀!長屋」で、展示されているものと同様の神様のポストカードやアクリルキーホルダー、書籍「村を守る不思議な神様」などを販売します。

※お支払いは現金のみとなりますのでお気をつけてください

販売日時 会期中の金・土・日・祝日
3/14(金)・15(土)・16(日)・20(木祝)・21(金)・22(土)・23(日)
13:00~20:00(カフェ・バーは23:00まで営業)

会場 石川県金沢市長土塀2丁目2-20 (芸術村より徒歩約10分)
駐車場無し、近隣のコインパーキングをご利用ください。



Art-SITEとは、ジャンルを問わず、市民の方々を巻き込みながらアーティストの展覧会やパフォーマンスなどを行う企画です。金沢市民芸術村が北陸の「内」から主体的にアート工房の場(SITE)を創造するとすれば、本企画では作品制作にとどまらず、作品が置かれ、鑑賞をする空間や人の働きにも積極的に意識を向けるアーティストを招致し、金沢市民芸術村の「外」からアート工房の実験的な運用方法を実践・提案する場とします。

不村道祖神の世界 不思議な神様

2025/3/15(日) - 24(日)

書籍「村を守る不思議な神様」に登場する人形道祖神やナマハゲをはじめ、「秋田の伝統行事」「四国のためき伝承」の絵画も展示します。

また、今回の開催を期に今年1・2月に行われた能登の来訪神行事「アマメハギ」と「面様年頭」のフィールドワークを行い、地元の方の言葉を元に制作した作品もご覧いただけます。

宮原さんのパワフルで色彩あふれるイラストをじっくりご堪能下さい。

人形道祖神について

個性豊かな表情と造形が魅力の人形道祖神は一年を通じて祭られている「いつでも会いに行ける」無形文化財であり、秋田県が質量ともに日本一の文化遺産です。

村に疫病が入ってこないよう、ワラや木で作られた人形を村境や神社に祭る風習が

秋田県の内陸部に数多く見られます。地域によってジンジョサマ(地蔵様)、ショウキサマ(鍾馗様)、カシマサマ(鹿島様)などと呼ばれる人形の神様は、民俗学者の神野善治さんによって「人形道祖神」という名称で分類され、東日本各地に分布し、とりわけ秋田県に集中しています。人形の頭部だけのものなどを含めると、現在秋田県内150カ所以上で確認できます。

春から秋にかけて、定期的に入形道祖神を作り替えてお祭りする行事が集落の人々によって催されます。主に農作業の節目に行われることが多く、豊作祈願や収穫祭といった意味合いもあります。

これとは別に、小さな人形(カシマニンギョウ)を複数体用意し、それらを船に乗せて「悪疫退散」や「五穀豊穰」などを願い、川や海へ流して村の外へと送り出す「鹿島流し」も県内各地で行われています。



カシマサマ 鹿島神宮の祭神 武甕槌大神
ショウキサマ 中国の道教の神様 鐘馗
ニオウサマ 仏教の守護神 仁王

悪疫退散



本堂城跡のショウキサマ(秋田県美郷町)

能登の来訪神 アマメハギ 面様年頭

をご存じですか?

2018年にユネスコ無形文化遺産に登録された輪島市や鳳珠郡能登町に古くから伝わる来訪神行事です。震災後に訪れ、現地でフィールドワークを行い、行事の様子と地元の方との対話から新作を制作しました!

今年の面様年頭
主役の4人の
小学生



輪島崎町 面様年頭

面様は一生に一度だけ
昨年は震災で中止に
なった

ディレクターからひとこと!

どこか秋田のナマハゲとつながりがあるような...

今回の企画を打診した際に、秋田のナマハゲを取材したことのある宮原さんから、能登の来訪神も取材したいと希望があり、フィールドワークを行うことにしました。事前に調査を進めていくと、あれよあれよと能登の魅力にハマっていった宮原さん、取材の最中「能登面白い!」と笑顔で叫んでいらっやいました。

移動の際に震災の様子も伺いながら、輪島市と能登町2つの行事について取材をし、見学させてもらいました。震災後初めて行われる行事についての地元の方々の想いや昔の思い出、これからの行事継続と復興の願いを込めた宮原さんの新作です。



秋田県 大館市
小雲沢のドジンサマ 男神



秋吉

今年の行事開催が決まる前にお話を聞かせてくださった秋吉地区の方々

飛家久夫さん
昭和29年生

宮原葉月 プロフィール

日本全国に存在する魅力的な民俗行事の数々。その面白さを作品を通じて精力的に伝えていきたい。

神奈川県生まれ。2008年よりイラストレーターとして活動。広告や書籍などのイラストを描く。『ピンクとグレー』(加藤シゲアキ、KADOKAWA)、『服を買うなら、捨てなさい』シリーズ(地曳いく子、宝島社)、中学校『国語』教科書(光村図書)などの装丁、イラストを担当。2017年に秋田へ移住し、人形道祖神と出会う。その迫力に魅せられ、イラスト業の傍ら人形道祖神の面白さを全国に広く伝える活動を開始。人形道祖神を斬新な色を使いながら大胆に表現する。秋田県内外でほとんど知られていなかった人形道祖神の知名度が徐々に広がり、各地の博物館や美術館、また代官山 屋書店での展示やイベント、書籍化などが実現した。



2024年に手がけた
四国ためきプロジェクト

公式サイトがあります!
詳しい情報は elosojin.jp
秋田人形道祖神プロジェクト
のウェブサイトをご覧ください。

